

1 受賞団体・個人の名称

はままつ
JAとぴあ浜松「浜松PCガーベラ」
(静岡県浜松市)

(問い合わせ先)

<http://www.ne.jp/asahi/pcgerbera/hp/top>

(経歴)

平成元年に組織化。平成17年には部会員全員がエコファーマーを取得、環境保全型農業の実践、徹底した品質管理及びコスト管理で全国の花き産地のリーダー的存在となっている。

(受賞時の経営内容)施設ガーベラ 7.9ha、農家戸数 17戸



3 経営面の取組

部会員全体の生産コストを公表し、各自の環境保全型農業の実践をコスト面から検討し収益性を明確化している。

部会員全員がエコファーマーを取得することにより、部会ポスター、品種カタログ、チラシ等にエコファーマーマークを入れPRを行っている。

部会として100店舗、年400日以上、花屋でPCガーベラフェアを行い、環境保全型農業をPRしている。



PRポスター



PCガーベラフェア

2 生産面の取組

栽培期間が長いガーベラの特性から、コンボ・ブラソイラ等により圧密層の破壊による排水性向上や、土壌の仮比重測定値に基づく堆肥投入などにより徹底した土づくりを行っている。

土壌診断に基づく施肥設計、肥効調節型肥料の施用により施肥効率を高め、化学肥料節減に努めている。

熱水消毒、太陽熱消毒等による土壌消毒の実施や、黄色粘着トラップ、近紫外線除去フィルム等による化学合成農薬低減に加え、メーカーと共同で害虫捕獲機の現地実証を行う等、環境への負荷を低減する新たな技術研究も積極的に行っている。

毎月のほ場巡回や他産地視察による情報収集に加え、毎年メンバー1~2名を環境保全型農業先進地のオランダに派遣し最新情報を入手している。

生産履歴情報を部会で共有し、栽培技術向上へフィードバックするとともに、外部からの問合せに迅速に対応する体制を整えている。



ほ場巡回により情報収集

4 取組の成果

同部会の取組により、花きの環境保全型農業への認識が、地域内や全国の産地にも広がりつつある。また、部会内でのコスト比較により情報が共有され、高度な栽培技術習得につながり、品質向上が図られた。

取組概要

部会員数 17戸(うち法人1戸)、取組面積7.9ha

生産・販売状況

年間出荷量 2,080万本、販売額 7.2億円 (平均4,250万円/戸)

(H19年度実績)

5 地域社会への貢献

「花育」の一環として毎年、園児、児童を対象に収穫体験教室を開催し、子供たちへの啓発を図っている。

同部会が中心となり、ガーベラ生産者の全国組織が設立され、この組織を通じて、環境保全型農業に対する取組の必要性を普及している。



収穫体験教室